

ヤマハニュース
YAMAHA NEWS NO.42

'66 12月号



特集
世界選手権 日本GP
ヤマハ 出場全クラスに優勝！



メタリックな美しさを生む 塗装工場

脱脂、水洗いから塗装、乾燥、焼付まで、あらゆる作業を、すべて一貫して行なえる塗装工場が、本格的に活動しています。今年の秋に完成した本社新工場の中でも、ヤマハがとくに誇り得る部門のひとつです。この塗装工場でつくり出されるオートバイの肌は、世界中のオートバイ・ファンのため息をさそうメタリックな美しさを持っているばかりでなく、製品を錆や腐食から守る重要な役割りを果たしているのです。

表紙のことば

「長谷川がんばれ！」
嵐のような声援が、観覧席からわき起った。
日本GP二五〇ccクラスでヤマハ・トリオがみせた息づまるようなデッド・ヒート。たがいにトツブをうばい合う大激戦が展開されたが、ついに車番32の長谷川弘が、リード(7)アイビー(8)の追撃をふり切って、フジの空に日章旗を掲げた。

断然ちがうスピードの足をみせて高速コースを思う存分に走るヤマハ・トリオ。⑧アイビー、⑨長谷川、⑦リード(250cc級レース)

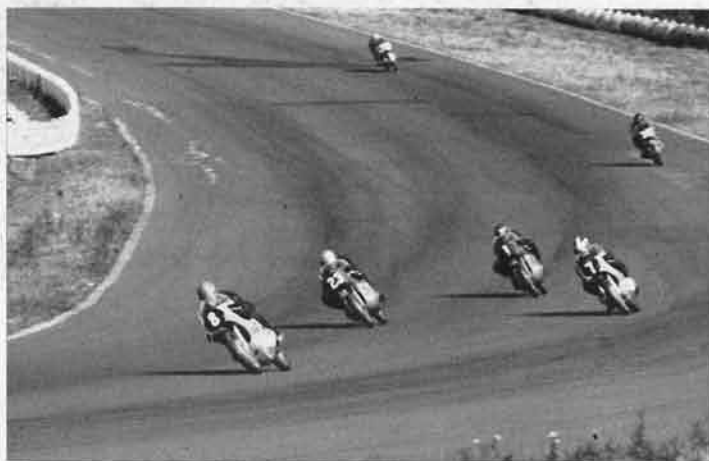
世界選手権 日本グランプリ。スリル

10月15～16日＝富士スピードウェイ

ヤマハ猛威をふるう

本年度世界GPシリーズの最終戦日本グランプリロードレースにおいて、ヤマハはオートグループエンジンの威力を存分に発揮し、出走3クラスに優勝した。10月15、16の両日にわたって開催された世界選手権日本グランプリは、富士の裾野に新設された世界でも指折りの高速コース「富士スピードウェイ」を舞台に、スピードとスリルの熱戦を展開したが、ヤマハは125ccクラス、250ccクラス、350ccクラスに圧勝した。とくに250ccクラスにおいては長谷川弘が優勝、本橋明泰が三位に入賞し、2本の日の丸を富士の青空に高く掲げ、5万余の観衆から絶賛の拍手をうけた。また同時に開催された'66日本選手権ロードレースにおいてもヤマハオートグループは抜群の強さを発揮して125cc、250cc、350ccクラスの優勝を独占した。

レース前半にして2位以下に大きく水をあげたビル・アイビーは、堅実なテクニックぶりを発揮して文句ない勝利を獲得した。



⑧アイビーを先頭に最終カーブを抜けようとするトップグループ。勾配が下りであるだけにスピードはのりにのっている感じだ。

世界選手権 日本GP 125cc.レース

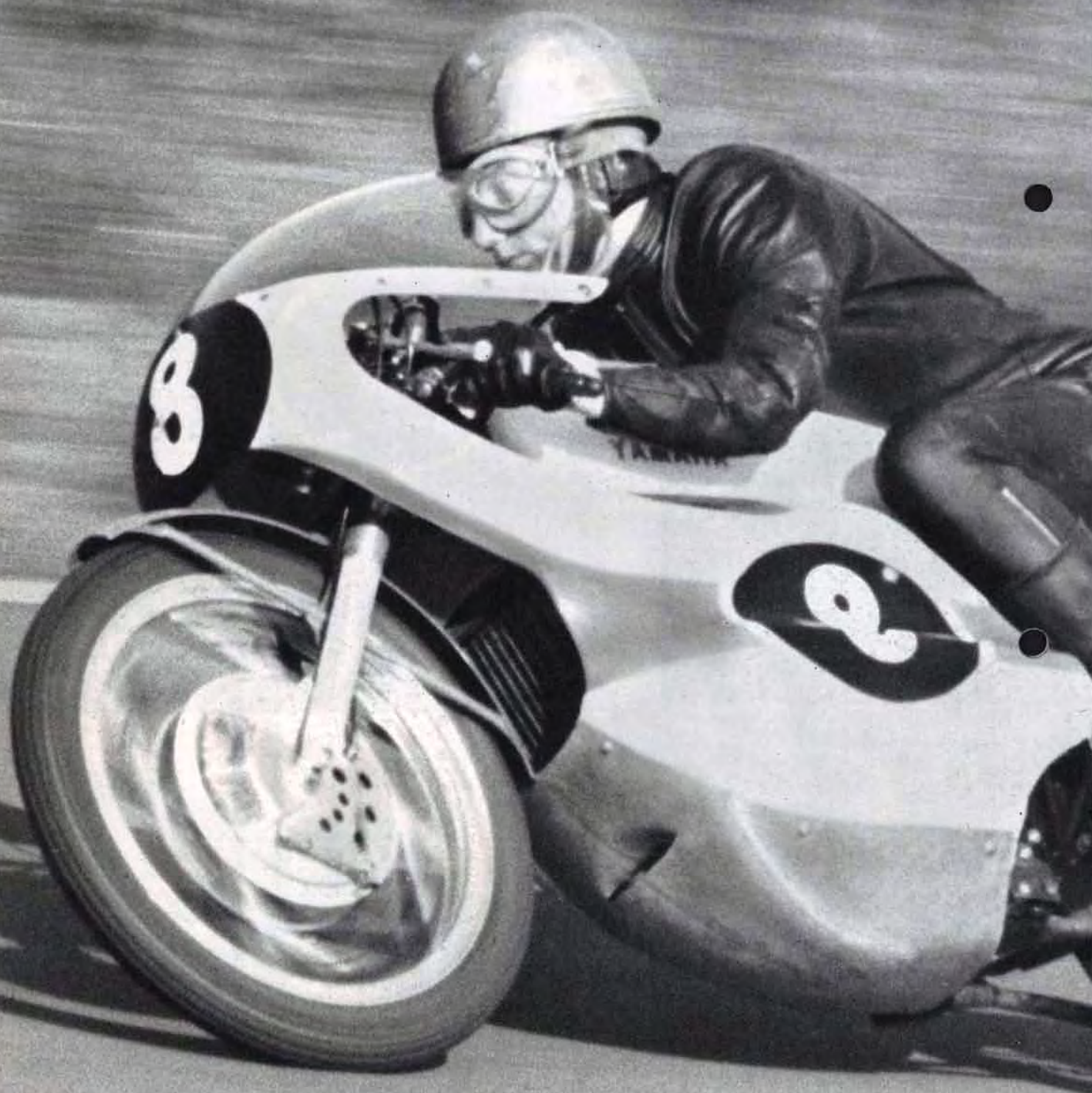
20周 120キロ—出走14台

ポールポジションについたヤマハのアイビーは自信满满々、スタートの合図と同時にまさきにとびだしていった。しかしスズキの伊藤もみことなスタートでアイビーを追い、スリップストリームを利用して一周目のトップをとった。しかしその差は僅少。すぐアイビーがトップを奪いかえた。そしてその後はマイペースで快調にとばし、レース前半にしてはやくも二位以下に10秒以上の大差をつけた。独走体勢をかためたのであった。グラッドスタンド前を200km/h以上のハイ・スピードで疾走するアイビーのテクニックは堅実そのもの。オートルーパーレーサーの余ゆうある実力を存分に楽しんでの優勝で、二位の片山に21秒の大差をつけてゆうゆうゴールした。

日本GP 125cc級クラス

順位	車番	ライダー	車名	タイム	平均速度
1位	8	ビル・アイビー	ヤマハ	44分17秒56	162.555* ₀ /時
2位	23	片山義美	スズキ	44分38秒92	161.259* ₀ /時
3位	24	伊藤光男	スズキ	44分54秒63	160.319* ₀ /時
4位	30	本橋明泰	ヤマハ	45分05秒82	159.656* ₀ /時
5位	7	フィル・リード	ヤマハ	45分05秒84	159.655* ₀ /時
6位	31	湯沢康治	ヤマハ	45分48秒77	157.161* ₀ /時
最高ラップ		ビル・アイビー	ヤマハ	2分10秒53	165.517* ₀ /時

ヤマハ出走全クラスに優勝!



日本GP250ccクラス

順位	車番	ライダー	車名	タイム	平均速度
1位	32	長谷川 弘	ヤマハ	51分21秒52	168.229 [*] km/時
2位	7	フィル・リード	ヤマハ	51分24秒03	168.092 [*] km/時
3位	30	本橋 明泰	ヤマハ	51分47秒65	166.814 [*] km/時
4位	3	J.フィンドレー	ブルタコ	2周遅れ	
5位	5	T.ロップ	ブルタコ	2周遅れ	
6位	12	K.アンデルソン	ハスクバーナ	3周遅れ	
最高ラップ		フィル・リード	ヤマハ	2分05秒87	171.610 [*] km/時



世界選手権 日本GP250ccレース 24周—44キロ—出走—2台

長谷川、本橋、リード、アイビーの4台のヤマハオートループレ

ーサーがその豪快な排気音を富士にコタマさせて突っ走る。この瞬

間、五万余の観衆は我れを忘れてスピードの饗宴に酔った。ヨーロ

ッパから遠来のアエルマッキ、ブルタコ、ハスクバーナのワークス

マシンをまったく問題とせず、スタートから大きく引離してレース

の主導権をにぎったヤマハグループは、互に自己のテクニクをフル

に発揮してトップを競いあつた。とくにこのレースにかけた長谷川

の意気込みはすさまじく、チャンピオンライダーのリードと互角に

わたりあつてみごと優勝の栄冠を獲得。また本橋明泰もよく健斗三

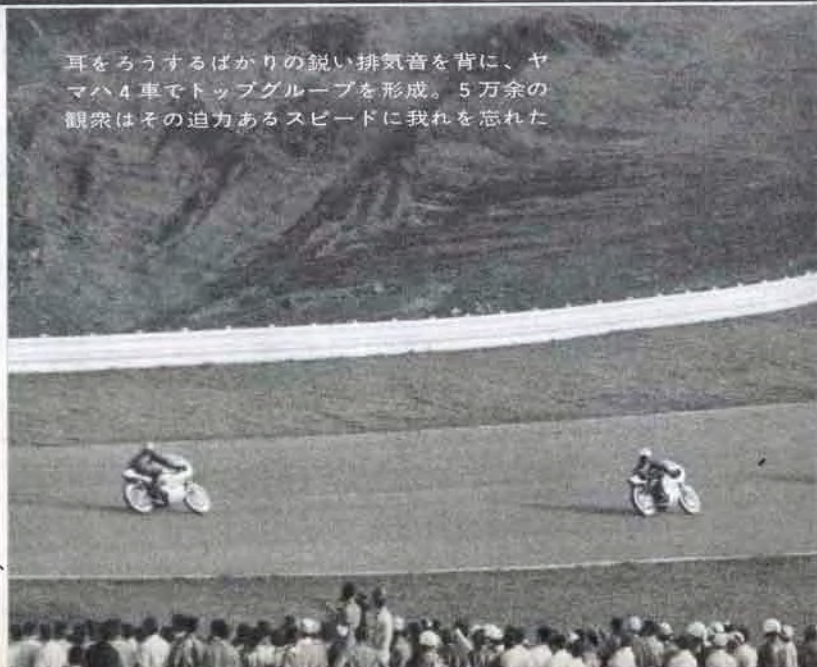
位入賞、堂々二本の日の丸を富士の青空に高く掲げたのである。



レース終盤ちかく、だんぜんトップに立った㊟長谷川弘はヘヤピンで㊠ハスクバーナのベングッソンから3ラップのリードを奪った。



“おめでとう、長（ちょう）さん。”の声もかかり、ワッと報道陣から囲まれた優勝の長谷川弘選手。大役を果たした晴れの笑顔である。



耳をろうするばかりの鋭い排気音を背に、ヤマハ4車でトップグループを形成。5万余の観衆はその迫力あるスピードに我れを忘れた

世界選手権

日本GP 350ccレース

25周150キロ―出走13台

めずらしくもスタートで遅れをとったリードが、最後尾で30度バンクの第1カーブに向うところでレースは開始した。トップは長谷川、そしてアイビーがびったりとついている。しかし最初にヘヤピンを通過した順位はアイビー、長谷川の順で、3位にはなんとリードがついていたのである。このことから分かるようにこのときのリードの追いこみはすさまじいものであった。2周目にいったん長谷川がトップに立つが、それ以後はリードがトップを奪った。ノートン、アエルマッキをラップすること2周以上。ヤマハオートループレーサーの実力はいかに発揮されたレースで、結果は接戦のすえリードがアイビーをわずかにおさえて優勝の栄冠を獲得した。

日本GP 350cc級クラス

順位	車番	ライダー	車名	タイム	平均速度
1位	7	フィル・リード	ヤマハ	54分01秒38	166.596 ⁺ km/時
2位	8	ビル・アイビー	ヤマハ	54分01秒49	166.590 ⁺ km/時
3位	14	A. バガーニ	アエルマッキ		
4位	16	B. ブラック	吉村ホンダ		
5位	35	室町健三	吉村ホンダ		
6位	12	K. アンデルソン	ハスクバーナ		
最高ラップ		ビル・アイビー	ヤマハ	2分06秒90	170.212 ⁺ km/時



ヤマハオートルレーサーのまったくみご
とな走りっぷりに、グラウンドスタンドに陣ど
ったヤマハメイトのみなさんもしばし感嘆。



表彰台の最上段に立つ優勝のフィル・リード
選手。ここにヤマハは出走3クラスの優勝を
独占し、つつがなく日本GPは終了した。

トップをきる⑦リードと3位を走る②長谷川
との差は10メートルとひらいていない。激し
いレースの展開に思わず手に汗をにぎる。



日本選手権ロードレース

10月15～16日＝富士スピードウェイ

125ccクラス－12周72分 出走10台

車番16、ヤマハの福田剛司は、スタートからトップに立った。しかし、スズキの長谷見昌弘が、ピッタリと喰いついて、はなれない。そして、2周目のヘアピンカーブで、福田のスキをつけて、トップをうばった。しかし10周目、再びヘアピンカーブで、劇的な逆転シーンが演じられた。後半に入って猛然とスタートした福田が長谷見を抜き、勝利の栄光はヤマハYA6に輝いたのである。

250ccクラス－15周90分 出走20台

日本選手権レースのメイン・イベントとして、もっとも注目されたのは250ccレースだ。公式予選でベストラップを出したヤマハYDS-3のガリー・ニクソンが、1周目のヘアピンカーブで、はやくもトップに立つ。すごいスピードだ。しかしカワサキの金谷秀夫が懸命に喰い下って、はなれない。だが、後半に入ると、実力の差があらわれ出した。ついには金谷を400メートルも引きはなしてゴールイン/転倒車も続出する激戦だった。

350ccクラス－16周96分 出走15台

ヤマハ・ファン期待の三室恵義は、スタートに失敗し、大きく出おくれた。しかし奮然とYMIのスピードを上げた三室は、たちまちにして最終グループをとらえ、2周目にはトップグループの間に突入して、ファンを歓喜させた。ついには、トップを走るホンダCB77の小林彰を4周目にして抜きさり、レース後半では、完全な独走体制に入った。そしてゴールイン/後続車の姿は、まだ見えなかった。

ヤマハの福田剛司⑩とスズキの長谷見昌弘⑤の間に思つまるようなデッド・ヒートが展開された125ccレース。ついに福田が抜いた。



250ccクラス

車名	タイム	平均時速
ヤマハ	34分08秒34	158.176 [*] km/時
カワサキ	34分19秒73	157.302 [*] km/時
ヤマハ	34分56秒14	154.569 [*] km/時
ホンダ	35分33秒13	151.889 [*] km/時
スズキ	36分09秒26	149.359 [*] km/時
ヤマハ	1周おくれ	
ヤマハ	2分14秒27	160.833 [*] km/時

125ccクラス

順位	車番	ライダー	車名	タイム	平均時速
1位	16	福田剛司	ヤマハ	32分27秒54	133.091 [*] km/時
2位	51	長谷見昌弘	スズキ	33分18秒88	129.673 [*] km/時
3位	52	諏訪均	ヤマハ	33分24秒78	129.290 [*] km/時
4位	37	小川孝司	ホンダ	34分38秒95	124.678 [*] km/時
5位	27	和田勤	ヤマハ	34分39秒19	124.664 [*] km/時
6位	50	従野年巳	カワサキ	34分41秒73	124.512 [*] km/時

'66



地味な習練をつみ重ね、今日は中部地区の代表として晴れのコースにのぞんだ福田剛司／ヤマハ。車番は⑥勝利への執念がひとみに宿る。

350ccクラス

順位	車番	ライダー	車名	タイム	平均時速
1位	20	三室 恵義	ヤマハ	37分44秒17	152.650*./時
2位	72	小林 彰	ホンダ	38分14秒42	150.654*./時
3位	70	増田 武	ヤマハ	39分52秒23	144.482*./時
4位	50	従野 年巳	カワサキ	1周おくれ	
5位	89	田崎 信次	ホンダ	1周おくれ	
6位	90	吉野 勇一	ホンダ	1周おくれ	
最高ラップ		三室 恵義	ヤマハ	2分18秒56	155.957*./時

順位	車番	ライダー
1位	76	G・ニクソン
2位	23	金谷 秀夫
3位	20	三室 恵義
4位	75	和田 正広
5位	51	長谷見 昌弘
6位	70	増田 武
最高ラップ		G・ニクソン



黒いツナギ服を着たライダーにまじって、赤と白のスーツ。フットボール選手のようなヘルメットをつけたニクソンは印象的だった。



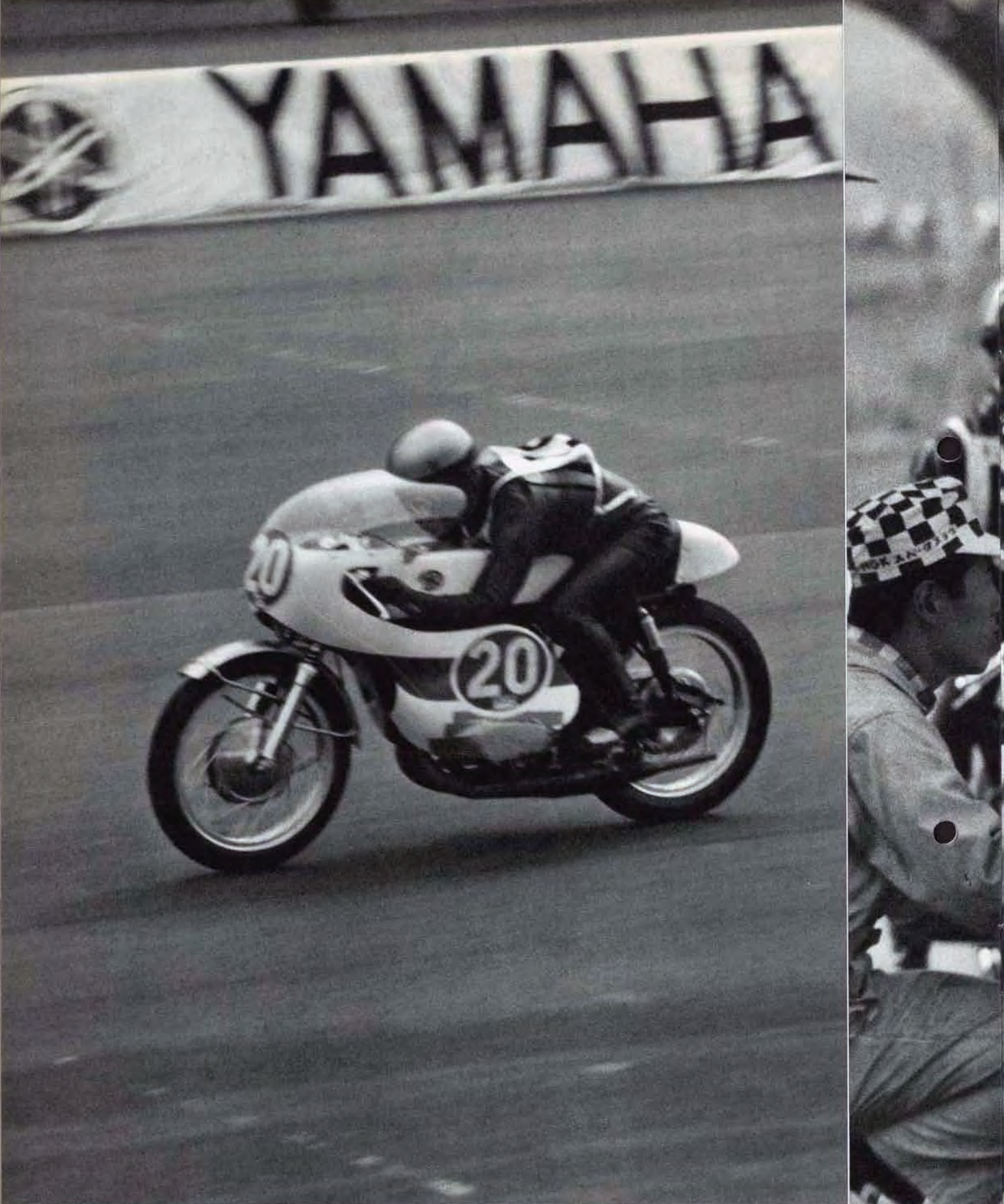
250 ccレース 1周目。G・ニクソン/ヤマハの加速はすばらしく、ヘアピン・カーブではやくもトップに立つ。あとは独走だ。



ヤマハTDIで、アメリカのレース界を席捲し、日本にもなぐり込みをかけたG・ニクソンは、堂堂250ccレースに優勝した。



ヤマハを駆って350 cc級日本チャンピオンに、そして90cc、250 ccでも輝やかな成績を収め、最優秀選手に選ばれた三室憲義。



350 ccレースで、なんと14台もつぎつぎに
ゴボウ抜きし、2位に1000メートル以上の差
をつけてゴール・インした三室恵義/ヤマハ。

秋空に上がったアドバルーン。PR戦もまずは優勝ノ



ワァー! ヤマハが値下げだ

●レース・ファンも喜こぶ値下げ断行

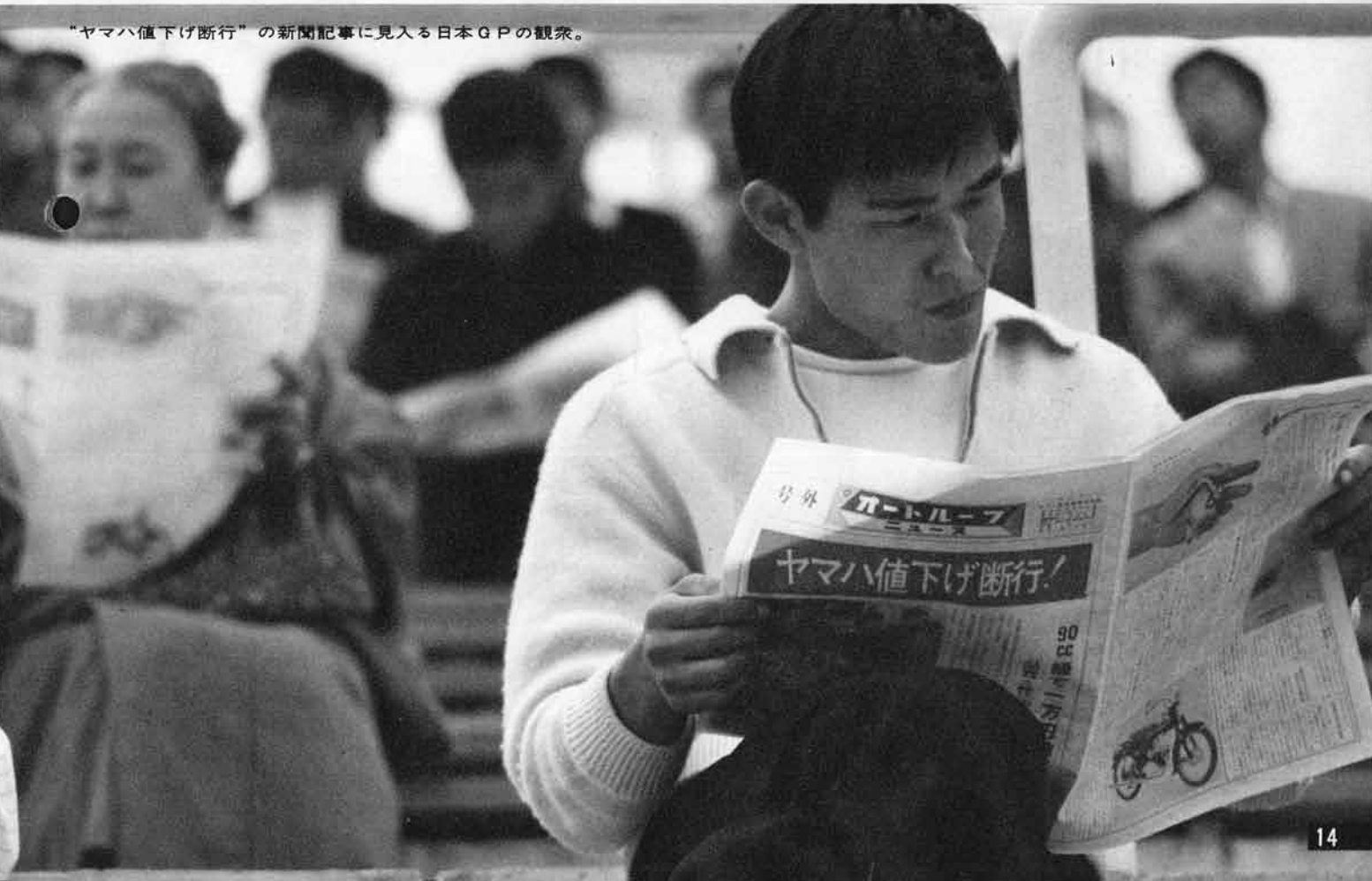
富士スピードウェイのメインゲイト前に、高だかと上げられたアドバルーンが五つ。

「大巾値下げ断行!! ヤマハオートバイ」と大書された文字に観客の目がすいつく。

「ワァー! ヤマハが安くなったぞ!」ヤマハの値下げをはじめ知った観客もいたとみえて、こんな歓声もあがる。

この日のレースで、ヤマハは快勝につく快勝ノ高品質、高性能にこの価格。ヤマハの躍進ぶりをのあたりにみた観衆の中から、またまたヤマハ・ファンがふえたことだろう。

“ヤマハ値下げ断行”の新聞記事に見入る日本GPの観衆。



表彰台に立つ1位長谷川弘、2位P. リード、3位本橋明泰のヤマハ・トリオ



躍進ヤマハ、日本GPに完勝！
2本の日の丸があがった250c.c.クラス

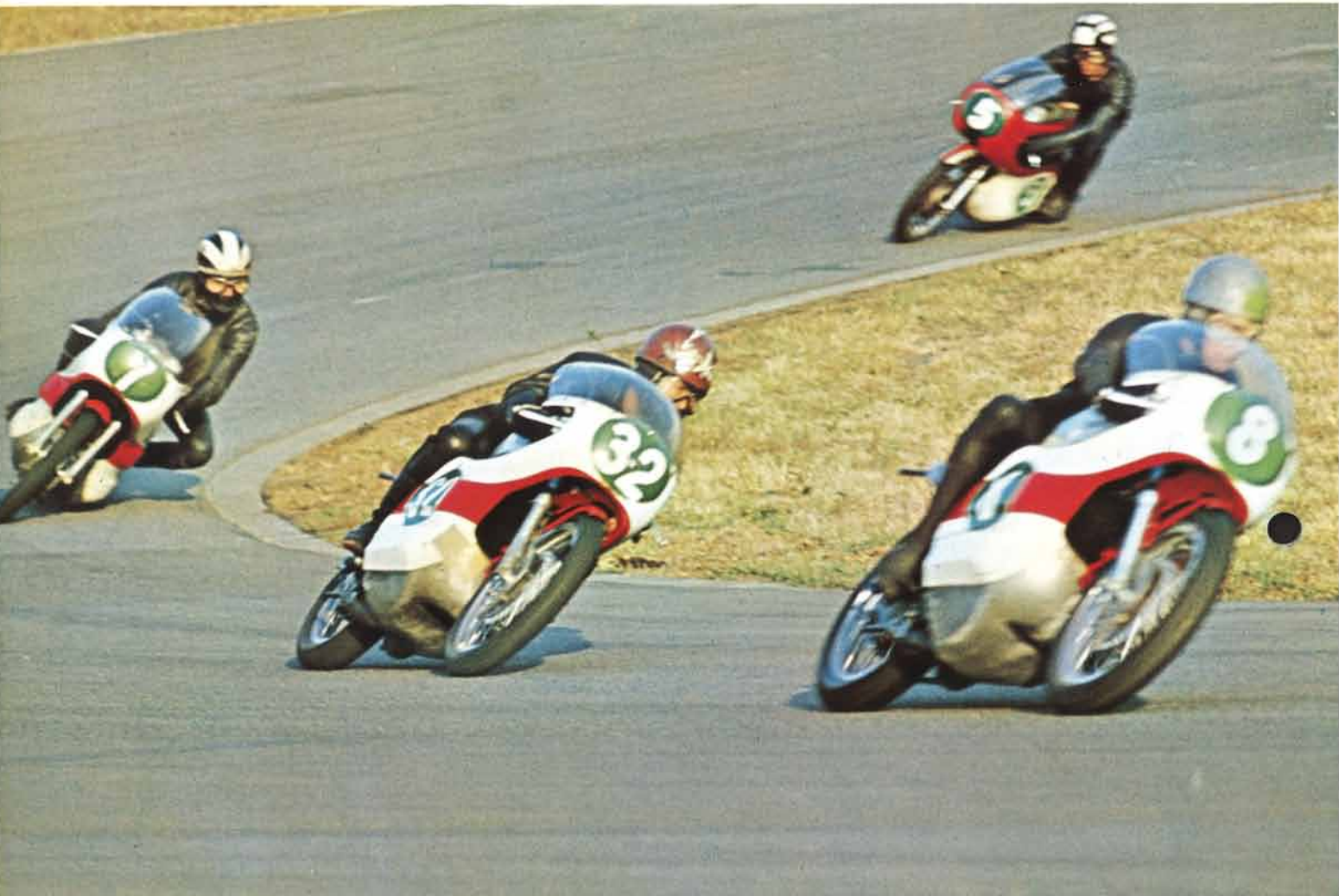
2本の日の丸があがった250 ccクラス



ラブマン。①福田剛司1位 ②諏訪均3位



日本GPと同時に開催された'66日本選手権ロードレースでも、ヤマハは圧倒的な強さを誇った。(250 cc級レースのスタート)



しゅんそくヤマハ！ ⑧アイビー、⑫長谷川、⑦リードの果敢なトップ争いは全観衆の注視的となった。（250 cc級レース）



'66日本選手権の250 cc級レースで、アメリカ流の豪快なテクニックをみせて優勝したヤマハYDS-3のガリー・ニクソン。派手なレーサースーツがひとときわ目をひいた。



さあ、いこうぜ！ 勢ぞろいしたヤマハのク
（日本選手権 125 cc級レース）



ヤマハと わたし

ロジャー・スミス

テレビ「サンセット77」でおなじみのロジャー・スミスさんが、TBSのヤマハ「ヤング・ジャンボリー」に出演。美しい音色のヤマハ・ギターを抱いてご満悦のスミスさんは、お得意のフォーク・ソングを電波にのせて、ファンをよろこばせました。

「歌は大好き、ギター演奏も好き」というスミスさんは、カウボーイの町で育っただけあって、フォーク・ソングやウエスタン・ソングが非常にじょうずですが、このほか「ラテン・ミュージックも得意」だそうです。

スタジオでは、一緒に出演するセブンススタイルのヤマハオートループ90H3をみて、えらく気に入ったよう。ハリウッドでも最近よくヤマハを見るようになったそうです。

ヤマハのギターを手にスミスさんは、ヤマハ「ヤング・ジャンボリー」の録画のあいまに、みごとな手さばきでギターをつまびきながら、じょうずな日本語で「ズンドコ節」を歌って聞かせてくれました。

テレビで扮するスペンサーと同じように陽気で、しかも、ずっと若い感じのロジャー・スミスさんです。

12月のお客さん ストーブ・リーグ作戦

●お客さんをスカウトしよう



日本シリーグ戦がおわって、プロ野球もシーズン・オフに入りました。しかし、プロ野球界は冬眠に入ったわけではありません。来シーズンの優勝をめざして、活発なストーブ・リーグ戦を展開しているのです。オートバイ需要もまた、シーズン・オフに入った地域が目立ちますが、来シーズンにそなえて、見込客のスカウトに懸命になっているお店も多いようです。ストーブ・リーグをどう戦うか、これが販売界の勝者になるかどうかのカギです。

◆シーズン・オフを有効に

十二月という月は特別な月です。師走。ボーナス月。冬至。クリスマス。歳暮。正月の用意と、非常にあわただしい年の暮れです。こうした十二月の特異性を利用して、おおいに拡販の成果をあげているお店もあります。

たとえば、ボーナスを頭金にして、サラリーマン相手に割賦販売を積極的にやっているお店。やはりボーナス景気のサラリーマンを対象に、中古車ストック一掃セールをおこなっているお店。歳末でいそがしい商店の機動力として、タイミングよくオートバイを売り込むお店。などが見受けられます。

しかし、全般的にみた場合、やはり、冬、というオートバイの弱需要期を迎えて、新車の売上げが減少するお店が多いようです。いわば、オートバイのシーズン・オフです。

こういうときは「やれやれ…」という気持で、ついお仕事に対する情熱も冷えがちです。「景気はどうですか?」と質問されて「いやあ、春までは冬眠だよ」と答える人も出てきます。

表面的にはなんでもない、こうした心のゆるみが、来シーズンの売上げに大きく影響してくることは、みなさんもとっくに承知のはずです。

冬季の拡販策と平行して、ストーブ・リーグ戦を活発に展開しましょう。



この努力が、やがてくる春に実をむすぶ。

生。学校を卒業して就職する予定の人。年度変わりの予算編成を前にしている事業所などです。

プロ野球でも、青田刈りという言葉がよく使われますが、来春四月ごろからオートバイに乗ってもらえそうな人たちに狙いをつけ、交渉をすすめることは、オートバイ界のストープ・リーグ戦を有利にすすめる上での定石です。

このほかにも、いずれはオートバイを持ちたいという潜在需要はたくさんあります。こういう人たちを一人でも多くさがして、やがてくる需要期には、ぜひ車を買ってもらおうにしましょう。

「春になったら車を買おう」というお客さんを逃がさないために、予約販売とか積立販売をおこなうのもよい方法です。積立販売が実現できれば、売掛金の回収にともなう危険度も減少します。

◆青田刈りを活発に

プロ野球界では、このシーズンにチームの補強をしようと懸命です。新人のスカウト合戦もさかんにあります。

オートバイ販売店のみなさんも有力なお客さんのスカウトにつとめ、ヤマハ・チームを増強しましょう。

シーズンオフには、いまずぐ車を買ってくれるお客さんが少なくなります。そのかわり春になったら車を買いたいというお客さんはかなり多いはずですよ。

こういう見込客をキヤッチして、あなたのお店が来シーズンも好調なスタートを切れるよう手を打つのが、オートバイ販売界のストープ・リーグ戦の目的なのです。

では、どんなお客さんをスカウトしたらよいでしょう。

まず考えられるのは、新学期を迎える高校

生。学校を卒業して就職する予定の人。年度変わりの予算編成を前にしている事業所などです。

プロ野球でも、青田刈りという言葉がよく使われますが、来春四月ごろからオートバイに乗ってもらえそうな人たちに狙いをつけ、交渉をすすめることは、オートバイ界のストープ・リーグ戦を有利にすすめる上での定石です。

このほかにも、いずれはオートバイを持ちたいという潜在需要はたくさんあります。こういう人たちを一人でも多くさがして、やがてくる需要期には、ぜひ車を買ってもらおうにしましょう。

「春になったら車を買おう」というお客さんを逃がさないために、予約販売とか積立販売をおこなうのもよい方法です。積立販売が実現できれば、売掛金の回収にともなう危険度も減少します。

◆年賀状も有力な武器

見込客をスカウトするためには、情報集めを活発にしなければなりません。それこそ、お客さんとストープをかこんでするムダ話の中からでも、見込客の存在をさぐり出さなければなりません。

いくらストープ・リーグだからといって、お店のストープにかじりついてばかりいては見込客はさがせません。目を大きく外部にみひらき、日常生活のあらゆる機会を通じて、車を買ってくれそうなお客さんをさがしてください。

近所の高校生を通じて、新学期には車を買いたいような同級生をさがしてもらうこともできるでしょう。また、来春、学校を卒業して、工場やお役目に勤めようという生徒さんには

力が必要とされるものです。

「冬のあいだは車が売れないので、この期間は、車両の整備に重点をおき、車両部門の売上げ減少をおぎなうとともに、お客さんに喜んでもらえるよう努力している」という東北地方の販売店があります。もちろん、販売店である以上は、車の販売が主でなければ、お店の経営が成りたちにくいでしょうが、整備」という武器をストープ・リーグ戦で有効に生かす方法もあります。

時間の余裕があったら、積極的にお客さんの車の状態をみてあげてください。新しくお客さんを獲得することも大事ですが、従来からのお客さんを逃がさないことも大切です。

これまでは、いろいろといそがしくて、お客さんの面倒を十分にみてあげられなかったお店もあることでしょう。いまが、お客さんとの親睦をあたためるよいチャンスです。

法律で義務づけられている自動車(二輪車は一二五ccをこえるもの)の定期点検整備をおこなっているお客さんがいたら、この機会に定期点検をすすめてあげてください。原動機付自転車についても、できるだけ定期点検

◆やはり訪問がキメ手

見込客のリストがそろった。PRもゆきとどいた。というとき、それからのもう一押しが肝心です。

そのままほうっておいたのでは、せつかく作物の種をまいて、刈りとらないのと同じで、あまり効果はありません。わざわざあなたのお店まで出向いてくれる新規のお客さんは少ないからです。

やはり、最後のキメ手になるのは、見込客を訪問することです。たとえば、その見込客と商談が成立しなくとも「将来、車を買うならば、あなたのお店から」という気持ちになるお客さんは多いことでしょう。また、つぎの見込客をスカウトするための手がかりになる

かもしれないシーズンほど、より以上の努力

が売れないシーズンほど、より以上の努力



新聞の折込み広告やPR資料も、オートバイのストープ・リーグ戦の強力な武器だ。

整備を実施することがのぞましいのは、いうまでもありません。

定期点検整備はめんどうくさいし、採算が合わないからイヤだ、というお店もあります。が、あらかじめ規定の料金をいただくということをお客さんに知っておいてもらえば、決して赤字にはなりません。定期点検は、お客さんをたずねたり、お客さんにお店に来てもらうための、よいきっかけにもなります。

◆お客さんに「冬」の注意を

お客さんと道ばたで出会ったり、お客さんがブラリとお店にたずねてきたりしたとき、冬季の車のとり扱いかたについてのチョットした注意を与えてあげてください。些細な親切ですが、お客さんに喜んでくれます。冬の条件に合うよう、キャブレターが調整

されているかどうか。指定以外のオイルを使用している。気温が下がったとたん始動がわるくなったというようなことはないか。バッテリー点火のエンジンでは、充電量を多い目に調整してあるか。など、冬に必要な車の調整は、積極的にこなす必要がある。

またお客さんからうるさがられない程度に、冬の安全運転についての注意をしてあげるのも親切です。冬は身体がかたくなりがちな上に、厚着をしているので、どうしても運転中の動作がぶくぶくなります。いままで以上に安全運転をこころがけるよう、お客さんを指導してあげてください。

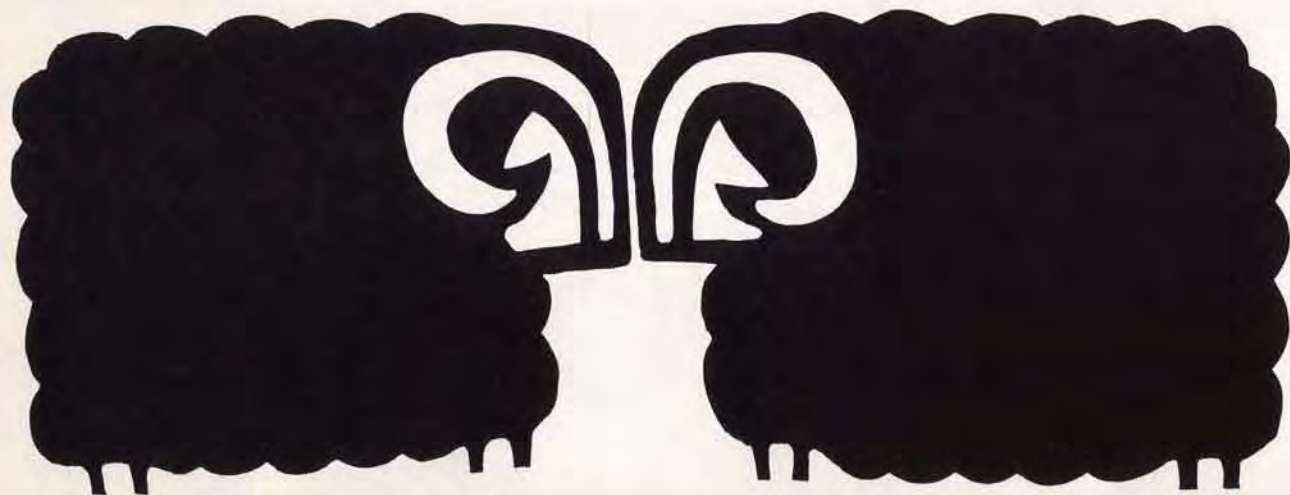
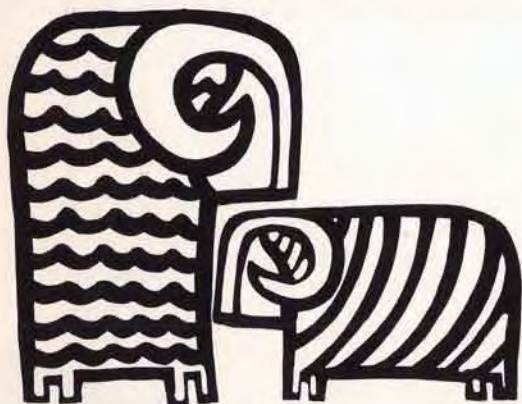
お店の発展のためには、ストーブやコタツに親しむよりも、お客さんに親しむ「冬」であってほしいものです。

サービスでお客さんを引きつける。



未(ひつじ)の描きかた

あなたがつくった年賀状は、きっとお客さんに喜ばれるでしょう。ダイレクト・メールをかねた年賀状で、新しいお客さんをふやしてください。来年は未(ひつじ)年です。年賀状に干支(えと)の絵を描きたいが、どうもうまく描けないという人のために、簡単に描ける「ひつじ」の図案を紹介しました。イモ版や木彫にご利用ください。



おヒゲは白いが心は若い

ヤマハ船外機のマーケットリーダー
気仙沼市大島・石川春治さん



農林大臣の委嘱を受けて、水産業調査員になってからも、ほぼ10年。石川さんの描く克明な漁労絵日記は貴重な資料である。



「人体とエンジンとは構造が非常に似ている。故障をするのは手入れが悪いからだ」と力説する石川さんだ。

宮城県気仙沼市に属する「大島」は、うみねこの飛びかう美しい緑の島である。

周囲四里（十六キロ）のこの漁村の島には、百二十台のヤマハ船外機が、わかめやカキの養殖に、はえなわ漁にと活躍している。

わずか三年たらずのあいだにヤマハがこれだけ普及したかげには、ヤマハ船外機のマーケット・リーダーである石川春治さんの功績が大きい。島の人々から「石川さま」と呼ばれる、当年七十八才の長老である。

午前四時、百四十貫の漁船にヤマハ船外機をつけて、石川さんは、はえなわ漁に出かける。よほど天候が不順な年でないかぎり、二百五十日以上は海で働らく。若く元気な石川さんだ。

石川さんは、波瀾に富んだ生活を送ってきた人である。若くしてアメリカに渡り、工学博士のホーガン先生に師事して六年間、原動機についてまなんだのはじめ、七つの学校で医学、考古学、電気学、冶金学など三十六項目にわたって、勉強したという。

帰国後も十指にあまる職業を経験した。大正六年、気仙沼から大島まで、初のエンジン付き連絡船を開通したのも石川さんである。

進取の気性に富む石川さんは、大島ではじめてヤマハ船外機を購入した人でもある。エンジン部門の技術家で、メカニック（MA）の称号を持つ石川さんが、数ある船外機の中からヤマハを選んだのは昭和三十七年の八月のことであった。

その翌日から、石川さんは、櫓でこぐ船のそばへ近寄っては、大声でどなるようになった。櫓をこぐやつはバカだ！ よっぽどアホウだよと。人びとは、最初は石川さんの言葉がシャクにさわり、そして、怒ったが、やがて船外機に関心を持つようになってきた。

「ヤマハ船外機は空間をせばめ、時間を短縮し、そして、からだも骨を折らない」だから、一人でも多くの人にヤマハ船外機を使ってもらいたいという石川さんの気持が、人びとの気持を動かすようになってきたのである。

ここ長崎湾のことなら、各種の魚の移動状況から海の底の地形まで、すべて知りつくしている。毎朝、海上で日の出をスケッチする。太陽の表情は、いつもちがっている。





電話、来客、会議、多忙な毎日である。東京都自転車軽自動車商協組の事務所にて。



今年の2月、整備工場（小型認証工場）の拡張にあたって、ヤマハ・コーナーを設けた。

業界の発展に「奉仕」する

＊わたしたしも仲間（メイト）

日商連専務理事・東商協理事
深沢商会社長・深沢聡幸さん

東京・杉並区の深沢商会社長というよりも、日商連（日本自転車軽自動車商協同組合連合会）専務理事、東京都自転車軽自動車商協同組合理事長としての深沢さんのほうが有名である。

それもそのはず、業界の指導者として多忙な活動をつづけられるほか、杉並交通安全協会の相談役、杉並消防団の副会長などの要職も兼ねているため、深沢商会社長としての執務は、夜だけしか行なえないという深沢さんだからである。

そのかわり、会社のほうは、専務取締役でもある長男の優幸さんが、ほとんど全面的にまかされている。「小さいうちはきびしくしつけ、ものごころついてからは、なんにもいわない」教育方針が、見事にのびのびと、ご子息たちを信頼できる、しあわせな深沢さんである。現在、大学にかよっている末のお子さんまで、一家そろって天照皇太神宮をあがめていることも、家族の和を物語っている。

それでも「もうそろそろ、会社の仕事に専念してもいいんじゃないか」と、優幸さんからいわれるという。

深沢さんが各種団体の役員として、業界の発展に“奉仕”するようになってから、すでに相当の年月がたつ。「自分自身の気持としては、タダで奉仕しているからこそ、こうして、できるだけ業界に貢献できるのだと思っているが、これからは、名前だけで活動のともなわない理事のかわりに、若い人たちにどんどん組合の役員になってもらいたい。そのためには、役員の有給制度が必要なのではないか」と、深沢さんは業者団体のあり方を真剣に考えている。

組合の改善ばかりでなく、深沢商会の店舗の改善にも、深沢さんは力を注いでいる。この春、ヤマハコーナー、オート用品コーナー、各種自転車のコーナーと、25坪におよぶ店舗を部門別にかけて、お客さんの便宜をはかったのも、その精神のあらわれである。

第13回＝東京モーターショー開く

例年、秋になると自動車ファン待望のモーターショーが東京の晴海で行なわれますが、今年も十月二十六日より二週間の会期で開かれました。

日本GP完全優勝、主力全車大巾値下げ断行など話題の多かったヤマハの会場には、また大きな話題が生れています。

それは、三五〇cc YR1の発表です。力強いシリンダーフィンしかもアルミ製の白いエンジン、まったくヤマハファンの目をうばうに充分です。

その他、日本GPで活躍したレーサー、値下げしたAT90、H3、輸出車などが、流動感あふれる会場に並んでいます。ぜひご覧ください。

白とグレイのストライプを大胆にあつかった会場風景





治安を守るヤマハオートループ車

＝福島県警にY A 6を大量納入＝

さる9月1日、福島市の新和自動車工業より30台のY A 6が福島県警に納入された。これは福島県警が管下の第一線各署の機動力の増強を図るためのもので、とくにヤマハが選ばれたのは、昨年納入された20台のY G I - Dが技群の性能を示したことによる。



ホステスはメイトに乗って会場に明るさをふりまく

美智子さまは ヤマハボートがお気に入りに！

＝高島屋でグッドデザイン・ショー開催＝

Gマークすなわちグッドデザイン賞に輝く数々の製品を一堂にあつめて、さる九月十九日から東京・高島屋においてグッドデザイン・ショーが開かれた。このショーにヤマハからはGマークのオートバイ、ヤマハオートループ ツイン90と、ヤマハボート・ハイフレックスIIが出品され、多くの観客の足をとめたが、九月二十四日には皇太子ご夫妻もお見えになり、ボート部門で初のGマークをうけたヤマハボート・ハイフレックスIIにとくべつのご関心を示された。



フジで大活躍のレーサーも



ヤマハボートにとくべつのご関心を示された皇太子殿下ご夫妻



2サイクル最大の排気量をほこるY R 1 350ccも発表

YAMAHA

TOPICS

ヤマハ本社へのお客さま



さる9月13日、アイルランドのマッカシー商工次官が本社を訪問、新工場の稼働ぶりをたんねんに視察された。(写真右)

サイアム/ヤマハの本格的な稼働によって意気あがるタイ国のヤマハ・ディーラーの代表者11名の方が本社を訪問、オートループの製作工程をはじめ、新工場の誇る塗装部門の一貫した作業工程を熱心に見学された。



カナダのレース界を総ナメ

＝だんぜん強いヤマハ・ライダー＝

カナダの主要レースのひとつヘヤウッド・レースをはじめウェストウッド・レースなどでヤマハ・レーサーが勝ちまくっている。写真は両レースの250cc級、オープンで優勝したチム・ポービー選手とヤマハRD56。

重役自から出場して優勝

＝第5回ベネズエラGPレース＝

さきごろ行なわれたベネズエラのオートバイ選手権レースにおいて、現地のヤマハ代理店ベネモトス社では50cc、100cc、250ccの3クラスのレースに参加したが、予定していた軽量級専門ライダーが急病のため出場不可能となり、急拠、こし43才になる重役のA・イポリト氏が代走し、メインイベントの250cc級で優勝したほか50cc級および100cc級において2位に入賞し、みごとチャンピオンシップを獲得した。レース終了後、43才のこの重役ライダーはもう少し体重が軽ければ3クラス制覇も夢ではなかったと語っていたが、ちなみに氏と出場予定のライダーとの体重差は実に25kgもあった。なお100cc級ではツイン90の100cc車Y-L-1が優勝し、スピードのヤマハの名を大いに高めた。



テレビ出演、メイトとメイト

パンチのきいた歌と踊りで若者たちの間で人気のある「ヤマハ・ヤングジャンポリー」(TBS毎週土曜日午後7時放映)に、このほど、ヤマハのPRでおなじみのいしだ・あゆみ嬢がメイト70に乗って出演し、手軽さとカッコよさをこ披露した。





サイアム/ヤマハの開所を祝ってテープをきるポット・サ
ラシン開発大臣。左から三人目がヤマハ発動機川上社長

本格的な稼動に入った タイ国のサイアム/ヤマハ

ヤマハ発動機とタイ国のサイアムモーターとの協力のもとに生れたサイアム/ヤマハはいま月産1000台のペースで高品質・高性能のヤマハを組立てているが、このサイアム/ヤマハはタイ国で唯一のオートバイ生産工場とあって、その開所式には多数のタイ国政府の高官が参列し、開発大臣が始業のテープをきり、ヤマハ発動機川上社長とかたい握手を交した。



サイアム/ヤマハの全景



サイアム/ヤマハの稼働を「ページ」全面を使って報じた
現地紙



躍進めざましい 山梨オート販売

対前年比二〇〇パーセントという目覚ましい発展をとげている山梨オート販売では、かねてより建設をすすめてきた新社屋の完成により営業所を丸の内三丁目から中央五丁目に移転した。新営業所は国道20号にちかい市内の目抜き通りにあたり、ショーウィンドーに飾りたてられたメイトやYMYには人だかりができるほどのPRにも絶好の場所。またこの新営業所はサービスマン工場、部品倉庫、会議室などがきわめて能率的にレイアウトされており、お得意さまに対するサービスマン体制は万全。有野社長をはじめ全社員はこの新営業所の完成を祝って、さらに一層の発展を期すべく新たなスタートをきった。

右はヤマハRD56レーサーでだんぜんトップを走るイポリト重役(二五〇CC級レース)上はチャンピオンシップを獲得し、ベネモトス社のみんなにかつきあげられたイポリト重役



キャブレターの調整



開度0から $\frac{1}{8}$ まではパイロット・エアスクリュウ、開度 $\frac{1}{8}$ から $\frac{3}{8}$ まではスロットル・ピストンのカットウエー、 $\frac{3}{8}$ から $\frac{1}{2}$ まではゼット・ニードル、それから全開まではメイン・ゼットの在り方が調子を左右する、と教られます。が、実際にはスロットル・ピストンのカットウエーの切込度が、思いもかけず広い範囲にわたって影響することを知ります。パイロット・エアスクリュウからバトンを受けついで開度 $\frac{1}{8}$ 位から $\frac{1}{2}$ 開度くらいまでのあいだ、影響をもちます。

キャブレターの調整では、各段階での調子だけがよくてもいけないので、低速から高速までスムーズに調子がつながらなければいけません。新車のうちはよいとしても、少し古くなって、スロットル・ピストンの下部に段がつくようになると、カットウエーが大きくなったのと同じ効果を持つ勘定で、低速から高速へのつながりが乱れます。そこで対策として、パイロット・エアスクリュウをひねったゼット・ニードルの段位を変えますが、本調子を得ることは無理です。エンジンに見合ったキャブレターをセットするには、あらゆる条件下のテストの結果、メインゼットやニードルゼットの番手、ゼットニードルの番

手とクリップ段位、スロットルカットウエーの番手、エアスクリュウの戻し回数、スターターゼットの番手、フロートチエンバー内のガソリン面の高さ、エアクリーナーのエレメントなどを決めてありますから、そのうちの一つの不調をおぎなうためにほかの部分の調整が乱されてはなりません。とくに広範囲に影響をもつスロットルピストンの摩耗による不調を他でおぎなっては不可、おしみにくく交換。度が進んでおればミキシングチャンバーの交換まで心掛ければなりません。

エアクリーナーからの吸入気をキャブレター室に導いてあるモデルでは、キャブレターカバーとケースカバーとの合い口がルーズでは困ります。余分なエアーを吸込んで正しい混合気の割合を乱すおそれがあります。それと、キャブレターキャップのゆるみ、取付孔のゴムのはずれなども要注意。正しく吸込まれたエアーの量と、正しい割合のガソリンを混合させてエンジンに送り込んでやるのが大切ですから。

2キャブレターの車では左右のキャブレターが同じ能力で働いてくれないと困ります。セッティングは同じで、摩耗度がちがわなくても、各シリンダーの吸入能力が等しくても、

コントロール、ワイヤーが不同ではなんにもなりません。著しい摩耗や不同がない限り、アイドルリングのときに左右同じように爆発しておれば、まず回転をあげても大丈夫と見てよろしい。そこでアイドルリングの時の片肺を防ぐために、コントロール・ワイヤーが左右のスロットルピストンを同じにコントロールしているかどうかのテスト方法は、二三ありますが、会社のすすめている方法が一番手取り早く、道具も不用で便利です。

まずアクセル・グリップを一杯にひねって全開にします。そしてこの時のケーブルの遊びを確認するわけです。キャブレターのキャップに異状がなく、一杯にしまっておればスロットルピストンの上り限度は一様のはず。ケーブルの引き加減が左右同じならばアイドルリングのときの開度が同じに得られる、というねらいです。

アイドルリングにしておいて、片方ずつプラグから高圧コードを外してみるテもあります。両方が同じ回転であればよいわけですが、コードをはずす時に電撃を受けないように注意しなければなりません。

混合気の濃淡による調子の出し方、濃淡を調節する方法は先刻ご承知の筈ですから、それ以外の注意を並べてみました。

モンキーを使うコツ



正しくはアジャスタブル・アングル・レンチというモンキーは、近ごろあまり使われなくなりまし。固定開口レンチの寸法の合ったのを使うほうが、相手を痛めないからで、工業学校の実習でも、サービスクラスの教習所でも使われません。しかし、上手に使えば便利な工具です。調節ネジをつまんで、品物にあてがうとたんにピタリと合わせて作業をすませ、外すときには、ちよつとゆるめて、の動作をスムーズに繰り返す熟練サービスマンのようすは美しいぐらいに見えます。

そのためには、調節ネジのところか油やホコリで埋まっているようなのは落第。汚れた作業のあとでは石油で洗ってオイルを差して、ぐらいの心づかいがいらす。まして調節ネジ止めのボルトが失われて、モクネジを代用してあるようなのはいただけません。アゴもネジも何ともないのに、ネジ止めボルトが失われてジャンク箱に放り込むようなことのないように、あらかじめボルトをよく締めたとボルト止めをするか、ハンダで埋めておくとうよろしい。

アングル・レンチの名のように、首の曲げであるのは、セットしたときの安定をよくするためと、向きをかえて少ないストロークで次の喰い合わせを可能にするためですが、固定レンチとちがって調節部があつて痛みやすいので、逆レンチは慎しむべきです。首の重さを「活用」してハンマーの代用をするなどはもつてのほか、アゴの通路が狭ばまつて、口が狭くならなくなります。

作業位置の関係で必ずとは言えませんが、レンチを使つての締めゆるめ作業は、出来るだけ「引く」方向に工具を使うことが賢明です。「押す」作業方向では力の制御が不充分な上に、万が一、レンチがはずれたり、ボルトがネジ切れたときに、手を痛めます。止むを得ず押し作業をする時は、レンチを「クソ掴み」にしないで、手を開いて、はずれてもケガの少ないように心掛けていただきたいものです。

ホイールの組立てと 振りとり



●むかしの自転車屋さんでは、スポーク・リムの組立てが満足にできなければ一人前の職人さんとはみなされなかったといいますが、とかく軽視されがちなのがホイールまわりの点検です。そこで今号ではホイールの組立てと振りとりについてカメラをむけてみました。



①まず注意して頂きたいことは、ヤマハのスポークには頭の曲がり直角にちがいのもの、ゆるいものがあるということです。



②さて組立てに際しては頭の曲がりの急なスポークをハブの外側にできるようにし、ゆるい曲がりのものを内側にできるようにします。



③リムへの組付け作業をやりやすいように、ハブへの差しこみは一度に全部のスポークをとおさず、片側の外を残すようにします。



④⑤ニップルは最初に手でスポークに仮づけしますが、これはスポークをとめるだけのもので、ドライバーである程度かたくとめます。



⑩ニップルの締付けトルクは15kg/cm以上でなければなりません。まだ新車でいえば慣らし終了後に一度増締めすれば完全です。



⑪なおタイヤを装着してからは回転バランスをとる必要があります。ホイールをまわして止まる個所が一定しているとすれば、そのときの下部が重いわけで、バランスー(銅線など)をつけ調整します。



⑧横振れは振れの出ている側の反対側方向に出ているニップルを締めて修正します。振れ巾は0.5mm以内にとどめるようにします。



⑨縦振れは突きでている側のニップルを締めて修正。この縦振れは最大1mmまでにおさえます。



⑥⑦ニップルの本締めは振れとり台にかけて行ないます。振れとりはリムの横振れと、縦振れについて行ないますが、この順序はまず大まかな横振れ、縦振れをとったのち、交互に小さな振れをとって最後は横振れでおわります。ここで重要なことは芯を出すことと、スポークの締め具合を均一にすることです。

フォト・コンテスト

●ヤマハニュースも大判になってはや6カ月もう12月号の編集とあわただしかった1年も終りです。その間フォトコンテストに多数の方が応募くださいました。編集部でも、こんなにカメラの好きなヤマハファンが多いとはおどろきでした。どちらも精巧な機械ものというところに共通なものがあるのでしょうか。しかし今号も特選がい当がないのはさびしいことです。来年もはり切ってどしどし傑作をお送りください。



入選——田川市／重藤尚之
タダ今整備中

スタート前の整備、ライダーのきびしい顔もよく出てますが、もう少し手もとをはっきりさせて、バックもあまりうるさくならないようにローアングルでとるべきでした。

入選——千歳市／鈴木 修
ツーリングにて

ツーリングの写真は、やはり目的地の風物とかをうまくとり入れたいものです。道ばたの花も可憐です、こんなものなどをもっと強調するようにしたらいかがでしょう。

入選——福知山市／上月百合子
ヤマハとモデル

モデル二人の身体の位置が中途半端なのがちょっと残念、しかし車の前輪をきって、きれいなタンクとエンジン部を画面の中心にもってきたことは成功です。

■佳作■東京都——坂本勝雄／宮城県——森 力／北海道——坂垣義久

応募規定＝ヤマハニュースの誌上を飾る写真を募集します
入賞＝特選1名・5,000円／入選3名・2,000円／佳作 若干名・記念品
テーマ＝ヤマハオートバイと人物、または風景画面にヤマハがあればどんな写真でも結構です
締切＝毎月10日
送り先＝静岡県浜北市中条 ヤマハ発動機 ヤマハニュース編集部



ヤマハ船外機付で13万4千円

ヤマハボート

ヤマハ船外機

FISH-12/PC-35

フィッシャーマン

ヤマハフィッシャーマンの特長

- 安全／横ゆれの少ない安全設計
- 安い／エンジン付で134,000円
- 軽い／車に乗せてどこへでも
- 丈夫／グラスファイバー強化プラスチック製
- きれい／いつまでも塗装がはげない

- 全長……………3.60 m (釣用イクス付)
- 全巾……………1.38 m
- 深さ……………0.51 m
- 重量……………58kg
- エンジン……………ヤマハPC-35
- 馬力……………3.5PS
- 重量……………16kg

深い静けさをやぶる水鳥の羽音 そして銃声！「これで、ヤマハフィッシャーマン12で魚釣りに出掛けた仲間たちに負けない獲物ができたぞ」安全で取り扱いがやさしいヤマハフィッシャーマンは、四季を通じて、水辺のスポーツの万能選手です



ボート＋エンジン 現金正価 ¥134,000



世界1 オートループエンジン

日本GP 出走全クラスに優勝

世界でも指折りの高速コース、富士スピードウェイを舞台として行なわれた第4回世界選手権日本グランプリロードレースで、高品質・高性能のヤマハは圧倒的な強さを発揮し125cc、250cc、350ccの出走全クラスの優勝を独占しました。オートループの輝かしき勝利です。

ヤマハニュース12月号 NO. 42

■昭和41年12月1日発行
■発行人 小池久雄

■発行所 ヤマハ発動機株式会社—静岡県浜北市中条
■印刷所 株式会社恒陽社印刷所